

### 第3学年 音楽科 学習指導案

大牟田市立松原中学校 教諭 坂本 亜衣

#### 1. 単元名 連作交響詩「我が祖国」からブルタバ（モルダウ） 【鑑賞】

#### 2. 単元の目標

- ・音楽を形づくっている要素の働きが生み出す曲想と時代背景を関わらせて理解することができる。  
(知識・技能)
- ・作曲者の思いを感じ取って、根拠を持って楽曲を味わいながら聴いている。(思考・判断・表現)
- ・作曲者の祖国への思いを感じ取り、自分自身がより生活を豊かにするための音楽との関わり方を考える活動に主体的に取り組もうとしている。  
(主体的に学習に取り組む態度)

#### 3. 単元について

##### (1) 教材観

本校は研究主題「主体的に学び、未来を拓く子どもを育てる小中一貫教育」と設定して取り組んでいる。そのために、「書く活動」を取り入れた授業展開の工夫を研究の要とし、研究を進めている。音楽科における書く活動とは、音楽に対する自分の思いや意図を、言葉で表現することであると考えられる。中学校学習指導要領の第2学年及び第3学年には、(2) B 鑑賞の内容における、(1) イ「鑑賞の活動を通して、曲想と音楽の構造との関わり・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり・諸外国の様々な音楽の特徴を、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解すること」と記してある。歴史的背景と、作曲者の祖国を愛する思いを結びつけやすいこの曲で、より明確な思いや意図を持って聴くことができると考える。標題がついていることで具体的に情景を想像することができるが、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴くことで標題に頼らなくてもイメージをしやすい楽曲である。

そこで本題材では、時代背景から作曲者の思いを理解した上で、標題と音色、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素や構造を関わらせながら聴く場面を設定する。作曲者の思いに共感することでより深く音楽を味わったり、音楽に託された人々の思いを発見したりすることができるので大変意義深い学習になると考える。

##### (2) 生徒観

本学級の生徒36名(男子16名、女子20名)は、音楽を形づくっている要素の働きから生まれる曲想と情景を関わらせて鑑賞する学習として「春」「魔王」を、また構造や背景となる文化と関連付けて理解し鑑賞する学習として「フーガト短調」「交響曲第5番ハ短調」を学習している。それらの学習によって音楽を感覚的に感じ取ったり、曲想の変化を理解して音楽を形づくっている要素の変化を捉えて、感想を言うことはできるが、曲想を表す言葉が思いつかず、音楽の特徴をうまく言葉で表現できなかつたり、そこに込められた思いを感じ取ることに課題が残っている。そこで、作曲者の思いが曲の背景を関連付けて理解させることで、より深く鑑賞できる力を育てたい。

### (3) 指導観

本題材の指導にあたっては、音楽を形づくっている要素の変化によって生み出される表現を聴き取る活動を通して、さまざまな情景や感情の表現を意識しながら鑑賞する学習を進める。そして自分で考えをまとめながら班で意見交流を行い、さまざまな捉え方を共有する。曲に込められたメッセージを解釈し、長い間人々を感動させてきた楽曲の良さや美しさを感じ、幸福に生きるための音楽との関わり方を考えさせたい。そのためにまず、時代背景より作曲者の思いを理解する。次に、標題と音楽を形づくっている要素を関わらせて聴くことで、この曲に託された思いを深く理解する。最後に、多くの人々を感動させた理由を探り、幸福に生きるための音楽との関わり方、活用方法について個人で考え、学級全体で深めていく活動を設定する。

### (4) ESD との関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

多様性…作曲された背景には、自身の生活体験とは異なる場合が多いが、作曲者の思いや音楽を形づくっている要素をもとに曲を解釈し、その音楽に支えられてきた人の思いに寄り添うことができる。

相互性…作曲者の思いと音楽表現はつながっており、時代をこえて、聴く人との関係性に気づくことができる。

#### ・本学習で育てたい ESD の資質・能力

総合的・多面的に考える力（システムズ・シンキング）

…作曲者の思い、チェコの国民の思い、それぞれの視点を通して、どうして人々を感動させたのかを考える。

#### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

人権・文化を尊重する…多様な文化、その国の代表的なものを理解することで、音楽に支えられた人々の思いに共感しようとする。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する…人々は、音楽によって気持ちを高めたり、団結したり、心が安らいだりすることを感じ取る。

#### ・達成が期待される SDG s

16 平和と公正をすべての人に

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を受受することができる。	①情景や雰囲気を醸し出す楽器の音色、旋律、リズム、強弱の要素に気付き、それらを自分の言葉で表している	①楽曲の背景となる歴史や管弦楽の楽器の音色などに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
②音楽を形づくっている要素や構造と、標題を結び付けながら聴くことができる。	②音楽の特徴を作曲者の生きた時代背景や、音楽に込められた思いと関連付けて理解し、解釈したり価値を考えたりして聴いている。	②音楽を通して幸福に生きていくための考えを、追求することができる。

#### 5. 単元の指導計画（全3時間）

次	学習活動・内容	・学習への支援	評価（△） 備考（・）
1	<p>1 「ブルタバを表す旋律」を聴き、イメージされることとその根拠を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージ→大きな何かが動く これから何かが始まる</li> <li>・音色→力強い、清らか</li> <li>・旋律→流れるような、山型</li> </ul> <p>2 楽曲について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川をテーマにした曲である</li> <li>・チェコの作曲家スメタナは、国民楽派の作曲家の一人である</li> <li>・母国語を使うことも禁止されている中で、祖国を愛する思いを託した作品</li> <li>・オーケストラで演奏され、標題がついている交響詩である</li> </ul>	<p>○上手く言葉にできない生徒のために、根拠となる部分を「音色」「旋律」に焦点化する。</p> <p>○作曲者の思いをより深く理解するために、当時の様子を歴史と結び付けながら説明する。</p>	ア① (知・技)
2	<p>2 ブルタバの各場面を聴きながら、標題と照らし合わせ、音楽のどのようなところからそう感じたのかを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「月の光、水の精の踊り」 なめらかな旋律がゆらゆら揺れる水面を表していると思った</li> <li>・「森の狩猟」 始まりのホルンの力強い音が、狩りの始まりを表していると思った</li> <li>・「ブルタバの2つの源流」 源流だから強弱を弱くしていると思った</li> <li>・「聖ヨハネの急流」</li> </ul>	<p>○特徴を感じ取りやすくするために、標題の順番を入れ替える。</p> <p>○必要に応じて、音楽を形づくっている要素をまとめたプリントを確認させる。</p>	ア② (知・技) イ① (思判表) ウ① (主体的)

	<p>突然暗い音楽に変わり、強弱も強く、流れの速い急流を表していると思った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「農民の結婚式」 軽やかなリズムで踊りたくなるから</li> <li>・「幅広く流れるブルタバ」 ブルタバを表す旋律で始まるから</li> <li>・「ビシェフラトの動機」 最後が遠くに消えていき、終わりを告げるようだったから</li> </ul> <p>4 各標題で中心となる楽器について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フルートとクラリネットの重なり</li> <li>・ヴァイオリンの伸びのある旋律</li> </ul> <p>5 スメタナの曲への思い、チェコの国民にとってこの曲がどのような曲だったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スメタナ 自分たちの国を取り戻そう 祖国を愛する思いを忘れないように</li> <li>・チェコの国民 やっぱり祖国が好きだ 苦しい中でも希望をくれる</li> </ul>	<p>○楽器の特徴を捉えやすくするために、その楽器の音色を聴かせる。</p> <p>○「ブルタバ」が今でもチェコを象徴する曲であることを考えさせるために、「プラハの春音楽祭」で毎年1番目に演奏されることを伝える。</p>	<p>ウ① (主体的)</p> <p>イ② (思判表)</p>
3	<p>6 心に残っている曲について考え、どうして心に残ったのか理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハルノヒ」：部活でずっと演奏していた曲で、辛かったけどみんなで頑張ってた楽しかったことを思い出す</li> <li>・「生きている証」：合唱発表会でひとつになることができた</li> <li>・「青い春」：受験勉強で自信をなくしていたときに、元気をもらった</li> </ul> <p>7 幸せに生きていくために、音楽をどのような場面で生かすことができるのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式で感謝を伝えるために歌う</li> <li>・好きな曲を見つけ、落ち込んでいるときに聴く</li> <li>・家族と歌う時間を作る</li> </ul> <p>8 学習のまとめとして、情景を思い浮かべながら、「ブルタバ」を鑑賞する。</p>	<p>○音楽のもたらす幸福感を全員が感じることができるよう、自分がどういうときに音楽を聴いていたのかを具体的な曲名と一緒に思い出させる。</p> <p>○卒業式に関する内容など、今後の授業とつないでいける内容を確認し、意欲を高める。</p> <p>○情景を思い浮かべることができるよう、写真を用意する。</p>	<p>ウ② (主体的)</p> <p>イ② (思判表)</p>